



大きな災害、事故と波乱の幕開けとなった令和6年、日本、そして世界中の人々の心に平安が訪れるようにとの願いが広がった新年となりました。第20回の記念リサイタルでは、完全復活！と誰もが認める素晴らしい演奏で一年を締めくくった伊都さん、気持ちは既にこの先の20年へと向かっています。伊都さんにとって、そして皆様にとりましても、健やかで幸せな年になりますように！



近況報告



年明けから心の痛むニュースが相次ぎ、また世界各地では争いが続き、祈りが、音楽の波動が人の心を、癒しと調和へ運んでくれることを願ってやみません。

昨年クリスマス、第20回ヴァイオリンリサイタルが無事開催され、多くの人に演奏を聴いて頂けたこと、これまで支えてくださった皆様、スタッフの方々に言葉に尽くせぬ感謝の気持ちでいっぱいです。

20年前初めてみなとみらいホールのステージに立った時、緊張と、そしてこの舞台上で自分の演奏ができる喜びが体の奥からふつふつと沸いてきました。その気持ちは20年間変わらず、ヴァイオリンと一緒に歌ってくれる楽しさ、喜び、感謝、決意、様々な気持ちに、舞台上で涙が止まりませんでした。そしてまだまだこれからだと新たな闘志が湧いてきました。

今その優秀さが話題のAI人工知能は、完璧な演奏をすることができるそうです。また音楽的な表現や、楽譜を読み込み、作曲家の個性を表すこともできるとのこと、演奏家はいらなくなるのではないかと憶測されています。でも、AIに偶然性、また時間の積み重ねもできません。演奏の、芸術の醍醐味はまさにこの2つにあるのではないかと信じ、聴いてくださる方の息吹を感じながら、今年も果てしない音楽の道をヴァイオリンと共に歩き続けたいと思っています。

【伊都】

第20回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

12月23日、第20回の記念リサイタルは、クリスマスイブ前日の土曜日という良い日程に恵まれました。16時になった開演時間も、終演後の煌びやかなみなとみらいの夜を皆さんに満喫して頂きたいという配慮からのようです。

プログラムは、ブラームス：ヴァイオリンソナタ第2番、シマノフスキ：夜想曲とタランテラ、ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第7番、ラヴェル：ツィガーヌ。どれも伊都さんの思いの詰まった大好きな曲ばかり。特に、今回ピアニストに迎えた根岸弥生さんは素晴らしいベートーヴェンプレイヤーとして名高く、ヴァイオリンとピアノの見事な調和に感動しました。

また、ツィガーヌは第1回のリサイタルでの演奏曲。

「ウィーン国立音大の学生であった当時、10代の日本人なのに、なぜかロマ（ジプシー）の演奏が得意みたいと、ウィーンでコンサートが企画されるきっかけとなった思い出の曲です。あれから20年、折に触れて演奏してきたこの曲を、胸に抱きしめると壊れてしまいそうな、繊細なヴァイオリンという楽器が、これほどの熱量を発することができるかと、音の波動が振り切れてしまいそうなパワーを持って、演奏いたします。」（プログラムノートより）

第1回のリサイタルを知る者としては、まさに感無量！の演奏でした。

演奏後、ホールの舞台上では初めて、マイクを持てた伊都さんの挨拶があり、声を詰まらせ涙する場面も。20年の月日、そして、この4カ月の日々の思いは、お客様の万雷の拍手と笑顔で報われたのではないのでしょうか。



Wiener Wind

Wind from Eastern Europe

～ 秋の夕べ 東欧の風に吹かれて～



11月5日、伊都さんの指の回復を待って開催されたコンサートでしたが、延期日程にもかかわらず、キャンセルも少なく、多くの皆様にご来場いただきました。

「生まれ変わった新たな皮膚とともに新たな気持ちで…」と、コンサートに臨んだ伊都さん、バルトーク：ルーマニア舞曲はじめ、ドヴォルザーク、クライスラー、モーツァルト、ラフマニノフとバラエティに富んだ曲の数々を、ピアニスト近藤紗織さんと演奏、ヴァイオリンを持つことさえできなかった辛いブランクを感じさせない時間でした。

まだ聴きたいけれど、もう無理はさせたくない…という遠慮がちなアンコールの拍手は伊都さんも戸惑う初めての経験、皆さんの温かい愛に伊都さんもスタッフも、ただただ感謝、感謝！の復帰コンサートになりました。

第17回 横浜山手芸術祭 オープニングコンサート

～ヨーロッパの薫りを山手の丘に～

2024年1月27日（土） 14:00 開演

会場：横浜市イギリス館

定員：40名（先着順）

参加費：2,500円

申込み：電話または来館受付

TEL：横浜市イギリス館 045-623-7812



ヴァイオリン：
加納伊都



ピアノ：
近藤紗織



ゲストヴァイオリン：
花井志おり

今後のコンサート予定 詳細については時期が近づきましたらホームページでお知らせ致します

♪ 3月31日、4月6日 イースターコンサート

♪ 4月7日 Japan UK Poetry Exchange 参加



加納伊都の Close To The Violin

毎週火曜日お昼 12:30~13:00 に好評放送中！

番組では、賛助・サポートをお願いしています

個人サポート：一口 3,000円から

ご希望によって、番組内にてサポートメンバーとしてご紹介、また、リクエスト曲、リクエスト企画を放送します

事業主の方：月額 10,000円

毎月番組内にて事業の案内、宣伝をいたします

詳細はこちらから



▶ PC・スマホでmarine FMを聴く

ListenRadio

カテゴリから「全国のラジオ局」→「マリンエフエム」を選択
スマホ・タブレットでは無料アプリをダウンロードします。

marine FM 86.1

<http://www.marine-fm.com/>

編集後記 皆様にご心配いただいた手の疾患も回復し、無事に後援会主催コンサートと第20回リサイタルを終え、誰より伊都さん本人が重いプレッシャーから解放されたことでしょう。ユニオン教会のアンコールでは、なんと ディニク：ひばり という高速高音の難曲を披露、皆さんへ感謝の気持ちからかもしれません、会場は「大丈夫？」という空気に。客席から思わず「頑張らないで」という声が掛かったほどです。今回は、どんなに辛い時も持ち前のおっとりキャラと真の実力で果敢に乗り越えていく、そんな伊都さんの強さを見せてもらった思いがします。／伊都さんのラジオ番組は3月までに150回を超える予定です。これも地道な努力が続けられるという（もちろん音楽にも通じますが）また別の才能あってのこと、後援会は3月末で活動を休止しますが、大きなサポートが今後も継続して伊都さんの才能の後押しをしてくれるようにと願います。〈ゆ〉

発行：加納伊都後援会 TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15

TEL：045-622-6780

FAX：045-621-6423

Email：trauben@itokanoh.com

Homepage：itokanoh.com